

MIS036-P79

会場: コンベンションホール

時間: 5月26日 14:15-16:15

## 2011年東北地方太平洋沖地震後に SuperDARN 北海道-陸別 HF レーダーにより観測された 伝搬性電離圏擾乱 Ionosphere disturbances observed by the Hokkaido HF radar after the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake

西谷 望<sup>1\*</sup>, 小川 忠彦<sup>2</sup>, 大塚 雄一<sup>1</sup>, 細川 敬祐<sup>3</sup>, 堀 智昭<sup>1</sup>

Nozomu Nishitani<sup>1\*</sup>, Tadahiko Ogawa<sup>2</sup>, Yuichi Otsuka<sup>1</sup>, Keisuke Hosokawa<sup>3</sup>, Tomoaki Hori<sup>1</sup>

<sup>1</sup> 名古屋大学太陽地球環境研究所, <sup>2</sup> 情報通信研究機構, <sup>3</sup> 電気通信大学

<sup>1</sup>STEL, Nagoya Univ., <sup>2</sup>NICT, <sup>3</sup>UEC

2011年東北地方太平洋沖地震発生後に SuperDARN 北海道-陸別 HF レーダー (北緯 43.5 度、統計 143.6 度) で観測された電離圏擾乱について報告する。上記レーダーは北海道北方からオホーツク海北端にかけて幅広い領域の上空電離圏領域の変動を常時観測しており、水平二次元方向における擾乱の変動をモニターすることが可能である。地震発生後の 14 分後からレーダーでは周期が数分、伝搬速度が約 3.5-4.5km/s の伝搬する変動を観測した。この変動は地震に伴う地上表面波の伝搬及び、鉛直方向の音波の伝搬により解釈できる。詳細については講演にて報告する。

キーワード: SuperDARN, 北海道-陸別 HF レーダー, 2011 年東北地方太平洋沖地震, 電離圏擾乱, レーリー波, 音波

Keywords: SuperDARN, Hokkaido HF radar, 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake, ionospheric disturbance, Rayleigh waves, acoustic waves